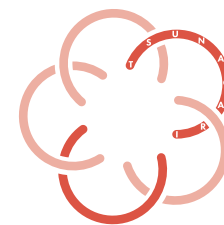


# ボランティア地域活動 外国人住民との共生



公益財団法人  
東京都つながり創生財団  
Tokyo Metropolitan Foundation "TSUNAGARI"



公益財団法人  
東京都つながり創生財団



東京都つながり創生財団  
ホームページ

みんなをつなぎ、みんなのための東京へ

財団案内 2026  
Foundation Overview



理事長 あいさつ

## 多文化共生社会・共助社会を実現し、誰もが自分らしく活躍できる東京へ。

私たち、東京都つながり創生財団は、東京の活力の源泉である「人」と「人」をつなぎ、地域コミュニティの活性化を支援する団体として、令和2年10月1日に東京都により設立されました。設立よりコロナ、ウクライナ避難民の対応等、これまでに経験のない課題に直面し、試行錯誤を繰り返しながら、「多文化共生社会」と「共助社会」の実現を目指し、様々な事業を展開してまいりました。

設立から5年がたち、私たちを取り巻く社会状況は大きく変化しています。都内の在住外国人人口は大幅に増加、国籍も多様化するなか、外国人も日本人も、誰もが地域で安心して暮らし、活躍できる環境を整備することは、一層重要な課題となっています。また、東京2020大会のレガシーであるボランティア文化の定着、地域コミュニティの活性化など、地域の課題解決に向けて人々がつながり助けあう社会づくりを進めることも重要です。

私たちは、引き続き、こうした社会情勢の変化に応じながら、地域の実情にあった支援を柔軟に展開し、多文化共生社会・共助社会の実現に貢献してまいります。そして、誰もが自分らしく活躍できる社会を実現し、世界から「選ばれる都市」を目指していきたいと考えています。

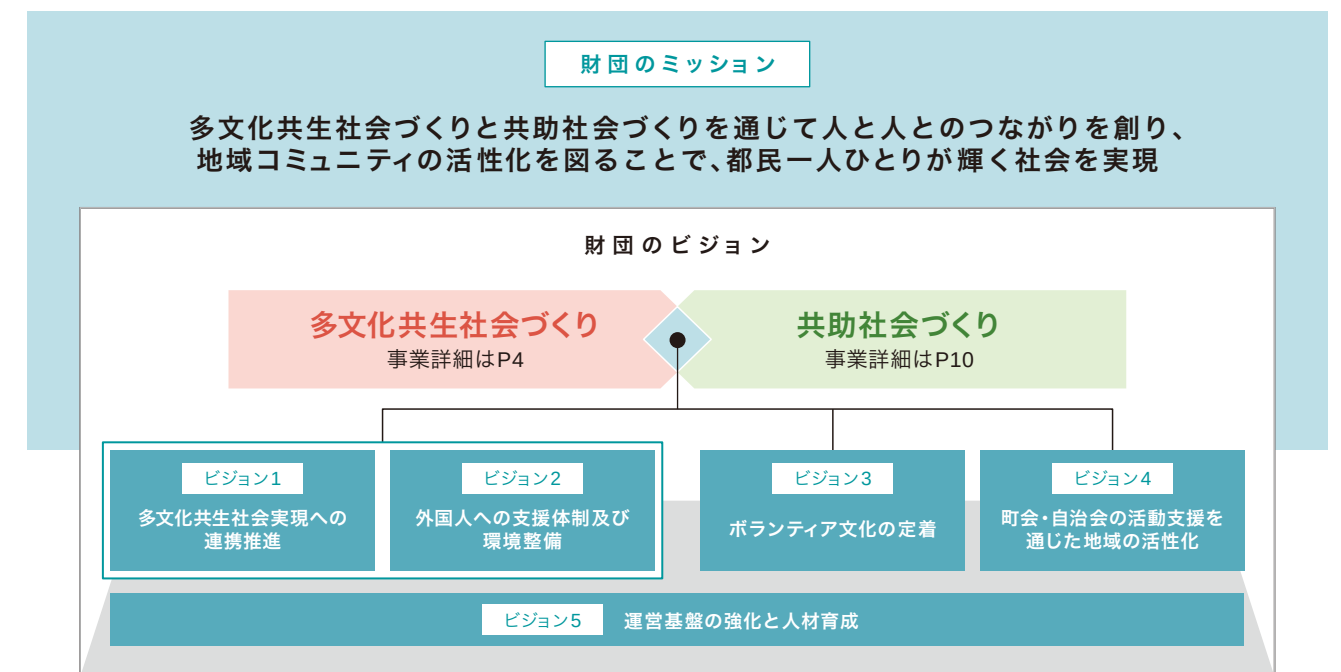
同時に、私たち自身も、組織体制やシンクタンク機能を強化し、蓄積したノウハウ等を地域に還元するとともに、現場目線で都の施策検討に参画するパートナーとして貢献してまいります。



公益財団法人 東京都つながり創生財団

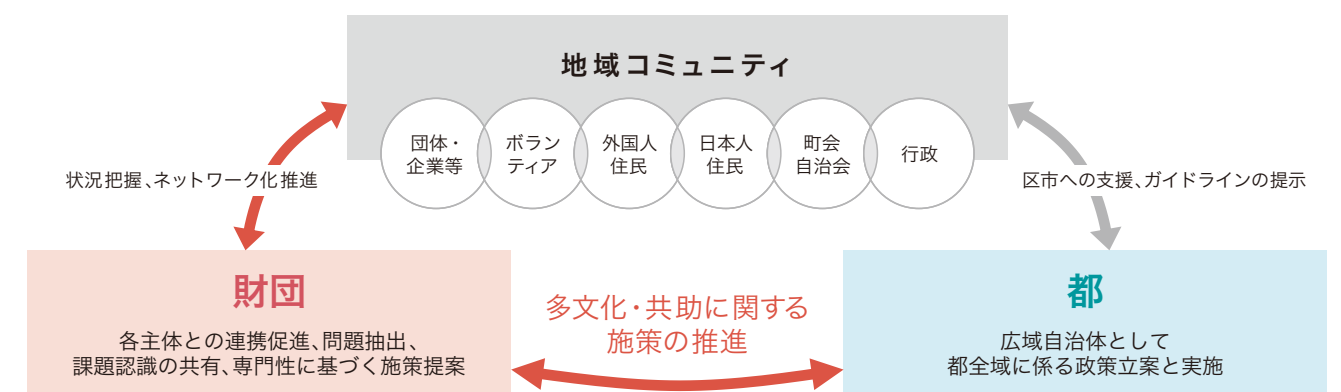
理事長 マリクリスティーヌ

## 財団のミッション・ビジョン



## 財団の役割

- 区市町村や関係機関とネットワークを形成するなど、連携して事業を推進し、多文化共生社会づくり、共助社会づくりに関する専門性を持って、**各主体の事業を支援する中間支援組織**
- 調査・研究の実施等シンクタンクとしての機能を備え、各主体に成果を還元するとともに、**現場目線で都の施策検討に参画するパートナー**





## 財団の多文化共生社会づくり



東京には、様々な文化的な背景を持つ多くの外国人が暮らしています。人々の多様性が尊重され、誰もが安心して暮らし活躍できる多文化共生社会をつくるため、東京都つながり創生財団では、区市町村や支援団体などと連携して、広域的な立場から在住外国人を支援しています。

### 多文化共生のための取組

|   |                    |       |
|---|--------------------|-------|
| 1 | 外国人相談              | 詳細はP4 |
| 2 | 在住外国人等に向けた情報発信     | 詳細はP5 |
| 3 | やさしい日本語の普及啓発       | 詳細はP5 |
| 4 | 多文化共生に関するネットワーク構築  | 詳細はP6 |
| 5 | 災害時の外国人支援体制づくりの推進  | 詳細はP6 |
| 6 | 多文化共生推進の中核となる人材の育成 | 詳細はP7 |
| 7 | 地域日本語教育の推進         | 詳細はP7 |
| 8 | 多文化キッズ支援の推進        | 詳細はP8 |

## 1 外国人相談

### 東京都多言語相談ナビ

東京都で暮らす外国人の日々の生活での困りごとに14言語で対応する電話相談窓口「東京都多言語相談ナビ(TMC Navi)」(TEL:0120-142-142)を設けています。弁護士などの専門家と連携した事前予約制の専門相談も無料で実施しているほか、地域の窓口では対応が難しい場合の多言語による通訳サポートも行っています。

※TMC Navi=Tokyo Multilingual Consultation Navi



東京都多言語相談ナビのチラシ

### ウクライナ避難民等に対する支援

東京都多言語相談ナビ内に「ウクライナ避難民ワンストップ相談窓口」を設け、東京での生活に関する相談受付や情報提供をウクライナ語で行うほか、都営住宅への入居希望の受付を行っています。また、東京都及び公益財団法人日本YMCA同盟とともに支援事業「ポプートニク・トーキョー」を実施、都内国際交流協会及び外国人支援団体等との連絡調整や通訳・翻訳等の言語的支援を行っています。



FC東京ウクライナ避難民招待試合の様子

### 研修やシステムの提供

専門家を講師とした相談員向けの研修の実施や、相談業務に携わる方を支援するシステムの提供なども行っています。

外国人窓口相談件数(2025年度)

4,258 件

東京都多言語相談ナビ

詳細はこちら







## 2 在住外国人等に向けた情報発信

東京都で暮らす外国人に向けて、生活・防災・相談会の情報などを東京都多文化共生ポータルサイト(TIPS)やSNSで発信するほか、東京で初めて生活する外国人のためのガイドブック「Life in Tokyo: Your Guide」を多言語で提供しています。また、広く多文化共生に関心を持つ方に向けた情報提供も行っています。



東京都多文化共生ポータルサイト(TIPS)

公式Facebook



公式X(旧Twitter)



公式LINE



東京都多文化共生  
ポータルサイト(TIPS)

詳細はこちら



## 3 やさしい日本語の普及啓発

### 普及と活用促進に向けた取組

日本語が母語でない人とのコミュニケーションに役立つ「やさしい日本語」の普及に向け、事例集の配布やオンラインイベントの開催、活用に関わるツールの作成や調査などを行っています。

### やさしい日本語に関わる人材の育成

やさしい日本語の概要や意義を学ぶ基礎研修や、窓口対応や情報発信について学ぶ実務研修のほか、職場や地域でやさしい日本語を広める「やさしい日本語リーダー」を養成する研修を実施するなど、人材育成に取り組んでいます。



「やさしい日本語」チラシ作成のポイント資料と普及啓発用バッジ

やさしい日本語に関する都民の認知度(2025年度)

52.3 %

やさしい日本語普及活動

詳細はこちら



## 4 多文化共生に関するネットワーク構築

### 多文化共生社会づくりを促す団体間連携

地域における国際化や多文化共生社会づくりを推進するため、次のネットワークの事務局を務めています。

- 東京国際交流団体連絡会議  
(情報交換や研修会の開催等の活動を行う、区市の国際交流協会との連絡会)
- 東京外国人支援ネットワーク  
(都内で外国人相談事業や支援活動を行う団体とのネットワーク)
- 国際交流・協力TOKYO連絡会  
(都内で国際交流・国際協力及び多文化共生に関わる団体や東京都と協働で運営する連絡会。国際化市民フォーラム in TOKYOの開催等)



国際化市民フォーラム in TOKYO パネルディスカッションの様子

### 「多文化共生中域ネットワーク」の構築

都内の区市町村をブロック分けし、区市町村・国際交流協会が、一緒に多文化共生社会づくりを進めるための中域的なネットワークの構築を推進しています。

## 5 災害時の外国人支援体制づくりの推進

### 災害発生時の外国人への支援対応

大規模災害が発生した場合の外国人への支援について検討し、国際交流協会などと連携して、多言語での翻訳訓練や、避難所における外国人被災者支援研修などを行っています。また、災害時の外国人支援ネットワークの構築に向け、関係機関との協力体制づくりを進めています。



避難所における外国人被災者支援研修の様子

### 防災にかかる普及啓発

防災について学べる動画や外国人のための災害時Q&Aなどのコンテンツを多言語で作成し、外国人への防災情報の普及・啓発に取り組んでいます。

外国人のための  
災害情報発信

詳細はこちら







## 6 多文化共生推進の中核となる人材の育成

### 多文化共生コーディネーター研修

地域における外国人支援を目的として、教育・医療・福祉・労働・防災など、多岐にわたる分野を包括的にコーディネートし多文化共生社会づくりの中核となる人材を育成する「多文化共生コーディネーター研修」を実施しています。

### 中学生作文コンテスト・高校生の主張コンクール

多文化共生を担う次世代の人材育成として、「国際理解・国際協力・多文化共生のための全国中学生作文コンテスト」「国際理解・国際協力・多文化共生のための高校生の主張コンクール」の東京都大会※を開催しています。

※外務省・公益財団法人日本国際連合協会が主催する作文コンテスト・主張コンクールの東京都大会。東京都大会で優秀な成績をおさめた作品は全国大会に推薦されます。



多文化共生コーディネーター研修の様子

多文化共生  
コーディネーター研修  
詳細はこちら



## 7 地域日本語教育の推進

### 地域日本語教育の体制づくり

外国人が日常生活に必要な日本語を身近な地域で学習できるよう、環境整備を進めています。都内の地域日本語教育の推進役となる総括コーディネーターと地域日本語教育コーディネーターを配置し、連携会議等を開催するほか、地域日本語教育の現場を訪問して状況把握や助言を行っています。また、地域の日本語教室で中核的な活動をしている支援者向けに、スキルアップやネットワーク化を図ることを目的に「日本語学習支援者スキルアップ研修」を開催しています。

### 東京日本語教室サイト

都内の日本語教室を120言語で掲載したサイトを運営しています。



地域日本語教育コーディネーター連携会議の様子

東京日本語教室サイト  
詳細はこちら



## 8 多文化キッズ支援の推進

### スーパーバイザー相談事業

多文化キッズ等（日本語を母語としない子供とその保護者）の支援に携わる方々が、高度な専門性を問われる案件について、スーパーバイザー（弁護士などの専門家）に相談できる制度を提供しています。本制度の登録団体が、複雑で困難な案件についても自信をもって支援ができるよう、サポートしています。

### 研修・連絡会の開催

多文化キッズ等への支援に携わる方々へ、支援の質の向上を目的とした研修を年1回行っています。また、東京都が設置する「多文化キッズコーディネーター」などの支援担当者にむけて「多文化キッズ支援担当者連絡会」を運営し、支援者間の情報共有や連携促進を行っています。

### 多文化キッズ支援の体制整備

都内の多文化キッズとその保護者に対する支援ニーズの高まりを受け、区市町村の個別事情に応じた支援体制整備に向け、モデル5区市において調査と研修を行い、他の区市町村へ展開します。



多文化キッズコーディネーター研修の様子



多文化キッズ支援担当者連絡会の様子

多文化キッズ  
スーパーバイザー相談事業  
詳細はこちら







## 財団の共助社会づくり

東京2020大会のレガシーを受け継ぎ、ボランティア活動の継続と裾野拡大を進めるため、ボランティアの魅力や活動の情報などを発信しています。  
また、地域の課題解決に向けて、共助社会づくりを進めるため、地域コミュニティの中核である町会・自治会の活動を区市町村等と連携して支援しています。



### 共助社会のための取組

- |   |                             |        |
|---|-----------------------------|--------|
| 1 | ボランティア文化の定着に向けた取組の推進        | 詳細はP10 |
| 2 | 町会・自治会の活動支援を通じた地域コミュニティの活性化 | 詳細はP11 |



## 1 ボランティア文化の定着に向けた取組の推進

### 東京ボランティアレガシーネットワーク

東京都の公式ボランティアポータルサイトである「東京ボランティアレガシーネットワーク (VLN)」を運営しています。  
このサイトでは、スポーツや福祉、国際交流など多彩なボランティア情報を掲載しています。1回だけ参加、定期的に参加など、自分に合った情報を探すことができます。また、ボランティアに参加した方のリアルな体験談や、運営する団体の活動レポート、様々なボランティア活動を紹介する記事など、活動の雰囲気やボランティアの魅力が分かる情報も発信しています。



東京ボランティアレガシーネットワーク (VLN)

東京ボランティアレガシーネットワーク  
ユーザー登録者数(2025年度)

 **15,420**人

### 各種イベント等の実施

発信力のある団体等との連携や各種イベントへの出展を通じて、VLNのPRを行っています。令和8年度からは、これまで東京都が実施してきた「つながる!! Tokyoボランティアフェスタ」を財団主催イベントとして開催します。  
また、ボランティア活動に関心はあるものの一歩を踏み出せない方や、別の分野に挑戦してみたいボランティア経験者を対象に、VLNの登録団体と連携した「ボランティア体験」を実施し、参加のきっかけを提供します。



つながる!! Tokyoボランティアフェスタ2026の様子

公式X(旧Twitter)



公式LINE



東京ボランティア  
レガシーネットワーク  
詳細はこちら







## 2 町会・自治会の活動支援を通じた地域コミュニティの活性化

### まちのつながり応援事業

特技やスキルを活かして活動するボランティアと一緒に、様々な形で町会・自治会の課題解決を図る事業です。

#### まちの腕きぎ掲示板

Web上のプラットフォーム「GRANT」を利用して、ちょっとした困りごとを持つ町会・自治会と、経験や得意なことを活かして地域の役に立ってみたいボランティア「腕きぎ」とをつなげる取組を、区市町村とともに実施します。



“腕きぎ”による町会パンフ作成の支援



“腕きぎ”による16ミリ映画会実施の支援

#### まちの応援プロボノチーム/まちの情報発信講座

企業での業務経験やスキルを活かしたボランティア“プロボノ”がチームを組んで個々に支援する「まちの応援プロボノチーム」と、全3回の講座を通じてHP作成やSNS活用に取り組む町会・自治会を“プロボノ”がサポートする「まちの情報発信講座」によって、都内全域の町会・自治会の活動を支援します。令和8年度は、「まちの情報発信講座」で、新たにチラシデザインをテーマとした講座も実施します。



“プロボノ”との活動の様子

まちのつながり応援事業  
詳細はこちら



### 伴走支援サポート事業

区市町村が実施する町会・自治会を対象とした個別相談の支援や、町会・自治会の伴走支援を行う区市町村をサポートするため、町会・自治会へコンサルタントを派遣します。コンサルタント派遣は、「加入促進・担い手づくり」、「デジタル活用」、「多文化共生」の3分野で実施しています。

#### 「つながり広場」の開催

加入促進・担い手づくり、デジタル活用など、町会・自治会の課題解決に向けた財団の支援事例や都内の好事例の共有を行うとともに、他の町会・自治会や企業・団体等とのつながりづくりを目的として、交流イベント「つながり広場」を実施します。

#### 東京都町会・自治会活動支援ポータルサイト

地域コミュニティの中核である町会・自治会の活動を支援するため、都や財団の助成制度情報や、各種助成制度を活用した取組事例などを「東京都町会・自治会活動支援ポータルサイト（東京都町会ポータル）」で紹介しています。

事例検索データベースでは、防災やデジタルなどのキーワードや活用した助成制度別に、町会・自治会の取組を検索することができます。

公式Facebook



公式Instagram



「加入促進・担い手づくり」のためのイベントの様子

伴走支援サポート事業  
詳細はこちら



東京都町会・自治会  
活動支援ポータルサイト  
詳細はこちら



町会・自治会累計支援件数(2025年度)



370 件





## 中期計画

「2050東京戦略」※で掲げる将来像を実現するため、財団の今後の取組を記載した第一歩の計画として、2025年度に第1次中期計画を策定しました。

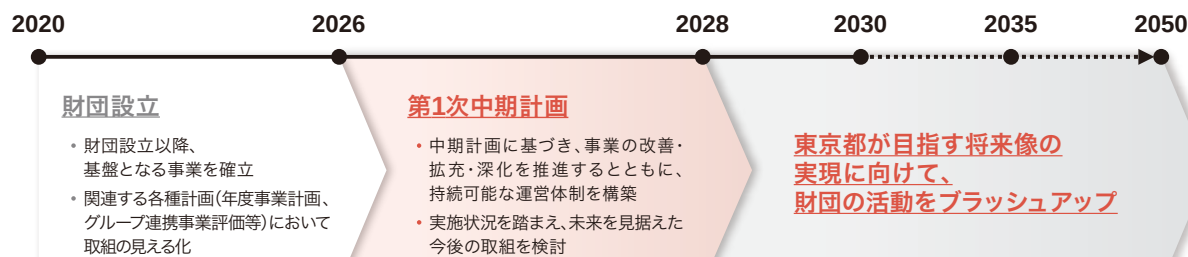
※2050年代に目指す東京の姿を実現するため、2035年に向けて取り組む政策を取りまとめた、東京都の長期戦略

| 東京都の方針 | 2050東京戦略        | 多文化共生社会の実現                                      | ボランティアの活性化                                           | 地域コミュニティ                                    |
|--------|-----------------|-------------------------------------------------|------------------------------------------------------|---------------------------------------------|
|        | 2050年で示す将来の方向性  | 多様性を尊重する価値観が浸透。<br>誰もが活躍できる社会。<br>世界から選ばれる都市となる | 都民をはじめNPOや企業等の<br>多様な主体が参加し、いたるところで<br>助け合いの文化がまちに浸透 | 地域における<br>コミュニティや交流が充実し、<br>新たなつながりも創出      |
|        | 2035年に向けた政策の方向性 | 外国人も、日本人も、安心して暮らし、<br>ともに活躍できる社会を形成             | ボランティアへの気運を高める取組を<br>加速することで支え合う文化を定着                | 様々な主体との連携を通じて、<br>地域コミュニティを活性化し、<br>地域課題を解決 |

| 当面の施策 | ✓ 東京の一員である外国人を支援<br>✓ 文化の違いを相互に尊重<br>✓ 外国人の暮らしを包括的にサポート | ✓ ボランティアへの関心度の向上<br>✓ ボランティア活動への支援 | ✓ 地域コミュニティの中核である<br>町会・自治会を活性化<br>✓ 多様な主体と協働した地域活性化 |
|-------|---------------------------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 具体化   |                                                         |                                    |                                                     |

### (公財) 東京都つながり創生財団 第1次中期計画

財団のミッション・ビジョンを踏まえ、計画期間(2026-2028年)に財団が進める取組を具体化しています。今後、取組状況や国・都の動向、在住外国人を始めとする地域社会を取り巻く状況に応じて、計画や取組をさらにブラッシュアップしていきます。



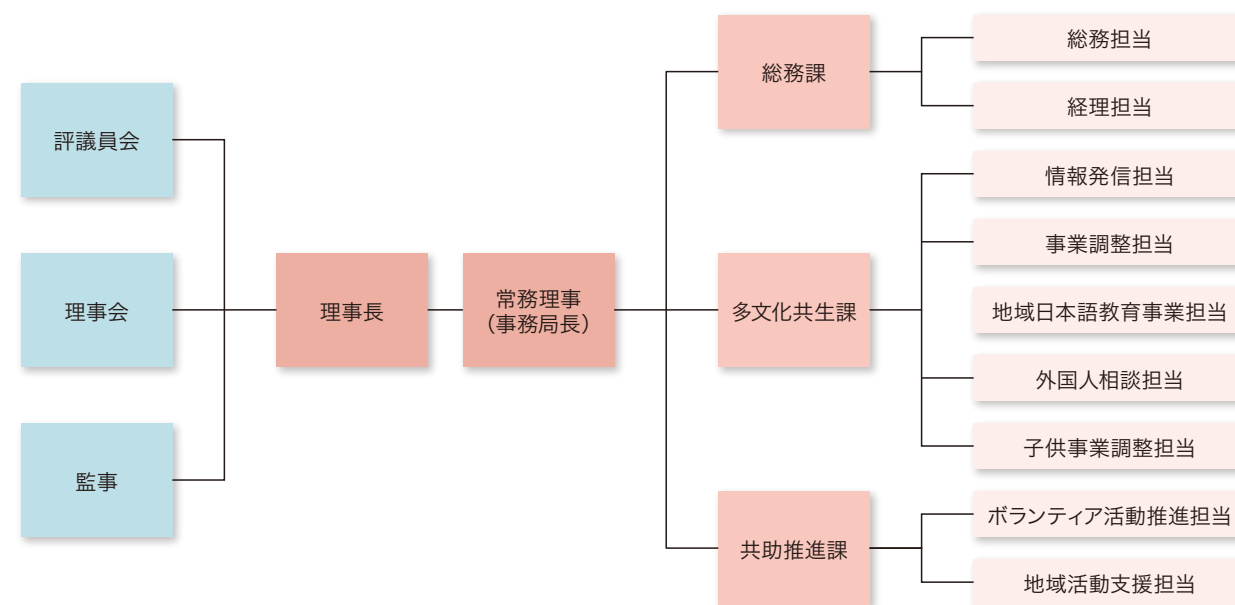
中期計画  
詳細はこちら



## 概要

|     |                                                                  |
|-----|------------------------------------------------------------------|
| 名称  | 公益財団法人東京都つながり創生財団<br>(Tokyo Metropolitan Foundation "TSUNAGARI") |
| 理事長 | マリ クリスティーヌ                                                       |
| 事業  | (1) 多文化共生社会づくりに関する事業<br>(2) 共助社会づくりに関する事業                        |
| 設立日 | 令和2年10月1日                                                        |
| 所在地 | 〒163-0808<br>東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル8階                             |
| 電話  | 03-6258-1223 (代表)                                                |

## 組織図 (2026年4月1日現在)



## 財団ロゴマーク

「つながり」の「つ」の文字が繋がって一つの花を咲かせ、多様性と協調を表現しました。花は水引をイメージし、人と人との「結ぶ」という意味を込めています。



公益財団法人  
東京都つながり創生財団  
Tokyo Metropolitan Foundation "TSUNAGARI"

財団案内2026

令和8(2026)年6月 発行  
編集・発行: 東京都つながり創生財団